



香川大学

保育所等における保育の質の確保・向上に関する検討会（第2回）

平成30年6月12日

資料

1-2

保育の質の確保・向上のために

香川大学 松井剛太

本日の内容

1. 保育の質の捉え方

2. 保育の質の全体像

3. 子どもの声を聴く

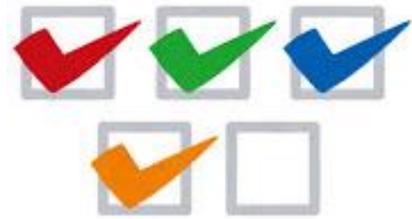
4. 保護者の参加を促す

5. まとめ

測定する質と意味づける質

客観的で普遍的なもの

- 客観的な基準を用いて、質を測定する。



客観的なエビデンスが
重視される

主観的で多視点から捉えられるもの

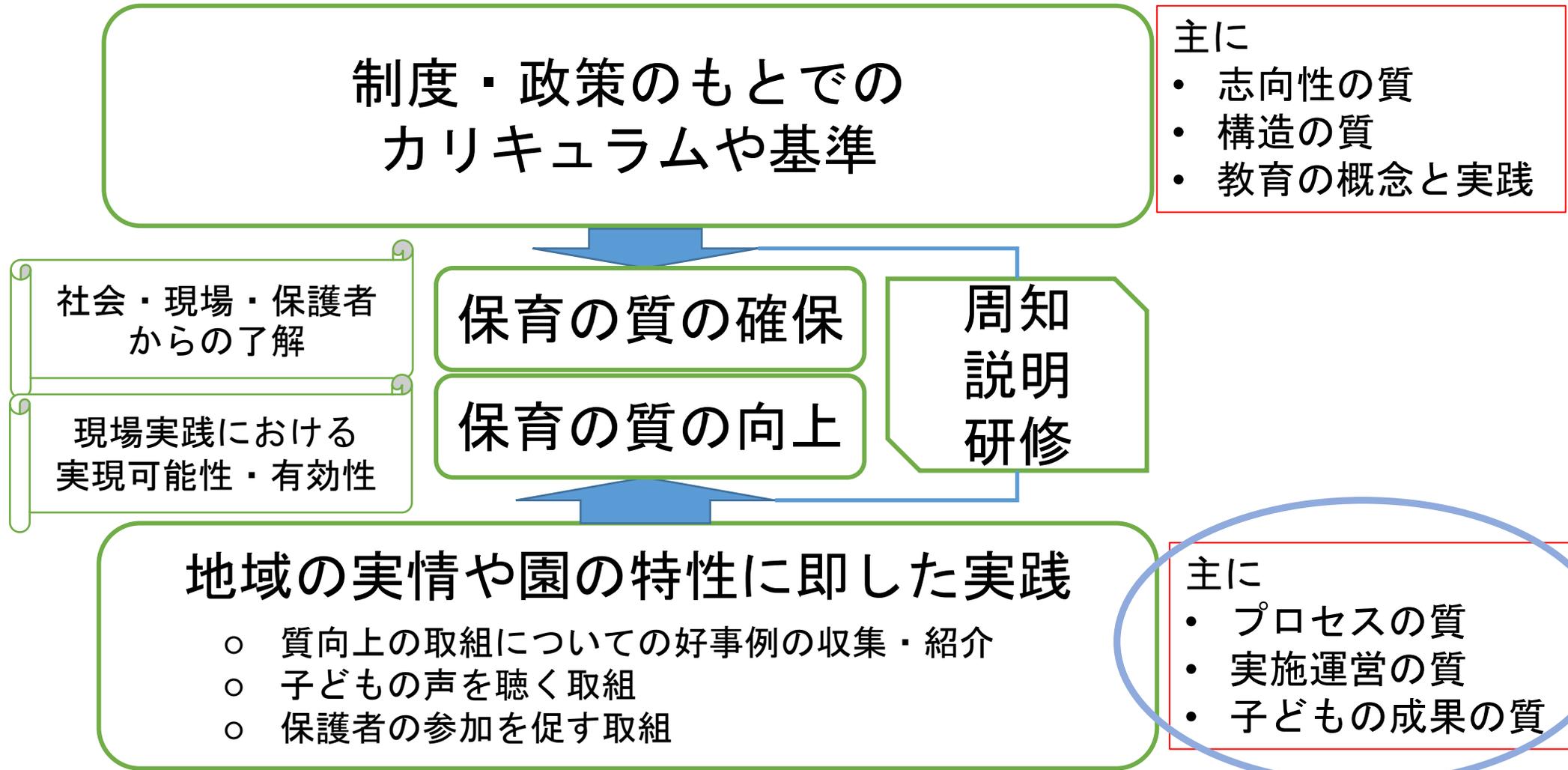
- 当事者の主観、多様な視点から「その場」の実践や子どもの経験を意味づける。



当事者の声（対話）が
重視される

保育の質の確保・向上 における全体像

【一部、松井（2018）より作成】



「地域の実情や園の特性に即した実践」 (対話) を質の向上につなげるために

総括的評価（学びの評価）

- **子どもたちの学びや教育の成果を客観的に提示することを目的とする。**

• 保育者1名で評価してよいのか？
客観的な基準がないので、不適當。
保育者間で対話することで、子どもの育ちや学びを読みとり、支援や保育の改善に活用する。

キーワード：
園内研修、同僚性、
風土、リーダーシップ

形成的評価（学びのための評価）

- **子どもたちの学びの支援や教育の改善に活用することを目的とする。**

• 保育者だけで評価してよいのか？
子どもの生活の場は、家庭や地域も含まれるため、不十分。地域社会に根付き、**子どもや保護者の声**を聴き、支援や保育の改善に活用する。

キーワード：
地域社会に開かれた保育、施設間連携、
子どもの声、保護者参加

写真を使って子どもの声を聴く

Clark & Moss (2001)

- 4歳, 5歳の幼児にデジタルカメラを渡し、施設内の好きな場所を写真に収めてもらう。その後、その理由などを保育者と対話し、子どもの視点から保育環境を見直す。
- 関心が失われつつあると感じていた環境に思いを持っている子どもがいることに気づいた。好きな遊びを撮る子ども、好きな友だちといた環境を撮る子どもなど、環境に対する思いの個性に気づいた。子どもの声による気づきを次の環境構成や遊びの展開に活かすことができた。



植村・松井 (2017)

写真を使って子どもの声を聴く

- ホワイトボードに遊びの写真を貼り、子どもたちと一緒に遊びを振り返る。

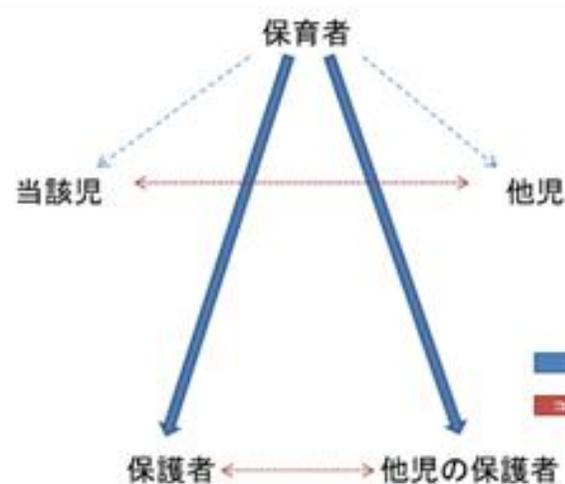


しんぶんの実践

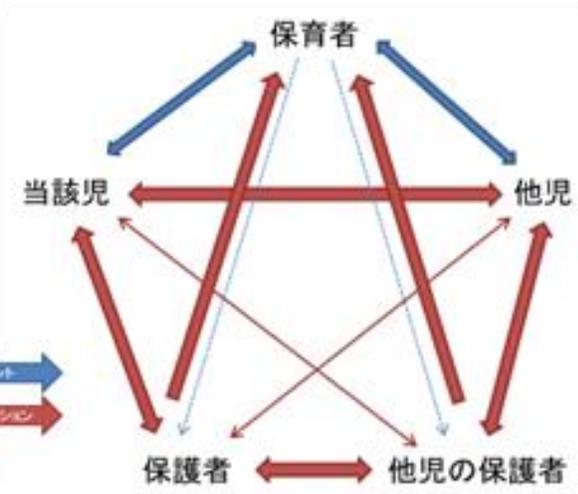
- 保育者がデジタルカメラを持ち、ほぼ毎日子ども宛てに保護者宛てに作成する。子ども宛ては翌朝、保育室に貼っておく。保護者宛ては、送迎場所のテラスに掲示しておく。
- 保護者の保育実践への関心を高め、自分の子どもはもちろん、他児の遊びをも話題にするきっかけとなる。「しんぶん」は、保護者に対し日々の保育を説明する機能に加え、保護者と子どもとの会話を通して遊びを支え、盛り上げることを可能にする。

松本・松井ら (2018)

通常の個別アセスメント



「しんぶん」を用いたアセスメント



ポートフォリオ

- 0, 1, 2歳児クラスを対象に、保育中の子どもの写真、保育者、保護者のコメント欄を設けて、子どもに対してコメントを書く。月に1度のペースで作成する。
- 家族内で子どもの育ちに関する対話が増加し、子どもの成長を家族みんなで喜べるようになった。また、父親は、「ほめる機会が増えた」、「子どもの話を聞くようになった」が増加した。一方、母親は「保育園でやっていることを家でもやってみるようになった」が増加した。保育者は、保護者のコメントを通して、園での遊びの参考にしたり、環境構成に役立てたりした。

松井 (2015, 2018)



まとめ (1)

・保育の質の確保について

質の「教育の概念と実践」は、これまで踏襲されてきた基本的な考え方に加えて、海外指針のエビデンスも踏まえながら、保育所保育指針で示されている。そこに出てくる「資質・能力」(キー・コンピテンシー)などの鍵概念をわかりやすく示し、対話の機会を作る。カナダでは、公衆衛生の分野で、知見の翻訳(knowledge translation)により、一般向けに視覚化したり、相互交流で意見を出し合ったりする方法で周知・説明が行われている。

まとめ (2)

・保育の質の向上について

意味づけを深化させるために、子ども、保育
 者、保育者など、当事者の声を、子ども、保育
 者が価値判断を深など、当り者の計画・実践・記
 録・評価の地・改善を進め園の特性が子ども、保育
 設の支えらなく、保育者、保護者、子ども、保育
 の心や子ど対話によっ
 にも関係者間を
 保護者構造を
 当り者構造を
 支えら、支